

第57回 定期総会開催

新総会長に梁榮友牧師選出 新総幹事は鄭守煥牧師選出



梁榮友 総会長



張慶泰 副総会長



申大永 副総会長



李明忠 書記



朴成均 副書記



金秀生 会計



鄭守煥 総幹事



2023年10月8日(主日)～10日(火)、在日大韓基督教会第57回定期総会が、「乾いた地に恵みの泉が湧く教会」(イザヤ44:3)という主題をもって、東京教会で開催された。

8日(主日)の午後6時から副総会長の金日煥長老の司会で始まった開会礼拝は、総会長の中江洋一牧師が「乾いた地に恵みの泉が湧く教会」(イザヤ44:3)という題で説教した後、副総会長の梁榮友牧師の司式のもとで聖餐式が執り行われた。未自立教会支援のために献金があった後に、崔正剛名誉牧師による「召天者」追悼の言葉と祈りが行われた。

開会礼拝が終わった後、全総代143名のうち、出席総代119名が確認され会議の開会が宣言がなされ2泊3日の定期総会日程に入った。まず、議事運営委員の承認と会順採択がされた後、新総代紹介、前総会長および副総会長の紹介、来賓紹介、前回定期総会会議録が承認された。

一日目に早速選挙に入り、総会長に梁榮友牧師(武庫川)、副総会長に張慶泰牧師(船橋)、申大永長老(東京希望)が選出された。

二日目は、敬虔会(司会: 朴栄子牧師、説教: 鄭然元牧師)後、昨日の選挙に続き、総幹事に鄭守煥牧師(新居浜グレース)が選出された。その他の任員は、書記: 李明忠牧師(横浜)、副書記: 朴成均牧師(和歌山第一)、会計: 金秀生長老(名古屋)、が選ばれた。任員選挙や会議の間に各種報告と内外来賓紹介と挨拶をいただいた。今回の来賓は以下の通りである。

・ 美国長老教会(PCUSA) 韓人教会全国総会(NCKPC) 総会長の権駿牧師、・ 韓国基督教長老会 総務 金昌周牧師、・ 基督教大韓監理会 宣教局 総務 太東和牧師、・ 基督教大韓聖潔教会 総務 文閔国牧師、・ 大韓イエス教長老会(高神) 副総会長 鄭泰鎮牧師、・ 大韓イエス教長老会(統合) 副総会長 尹澤鎮長老、・ 日本基督教団総会議長 雲然俊美牧師、・ 日本キリスト教会大会議長 有賀文彦牧師、・ 日本キリスト教協議会(NCCJ) 議長 吉

高叶牧師、総幹事 金性済牧師。

昼食を挟んで委員長が推薦され承認をし、常任委員会が組織され、引き続き、前総会長の趙永哲牧師の司式のもとで「旧新常任委員交替式」が行われ、議長が梁榮友新総会長に交代された。新しく選任された委員長は以下である。

・ 宣教委員長: 趙永哲牧師(大阪北部)、・ 教育委員長: 金迅野牧師(横須賀)、・ 社会委員長: 李相勁牧師(川崎)、・ 神学考試委員長: 金聖孝牧師(熊本)、・ 信徒委員長: 梁陽日牧師(大阪)、・ 憲法委員長: 中江洋一牧師(広島)、・ 救済基金委員会: 吉井秀夫長老(京都)、・ 財政委員長: 金秀生長老(名古屋)、・ 平和統一会議準備委員長: 具滋佑牧師(東京希望)、・ 憲法・規則等改正検討委員長: 白承豪長老(神戸)、・ カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員長: 金柄鎬牧師、・ 監査: 高在道長老(名古屋)。

引き続き報告、委員会の組織、献議案審議、青年会代表の挨拶などがあり、夕食後には各委員会が行って二日目の日程が終わった。

三日目は、敬虔会(司会: 辛治善牧師、説教: 金聖孝)から始まり、議事に入り各委員会の活動計画の報告と質疑討議がなされた。

三日間決議された主な献議案は、

- (1) 「カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員会」を特別委員会として設置。
- (2) 特別委員会の「讃頌歌委員会」を閉止して必要な時に再設置すること、平和統一会議準備委員会と憲法・規則等改正検討委員会の継続設置を承認。
- (3) 救済基金委員会の「教役者退職後の支援給付金規則改正」
- (4) 関西地方会の規則変更。
- (5) 中部地方会の「四日市教会解散」承認。
- (6) 関西地方会の「大阪南部教会解散」承認。
- (7) 関東地方会の「大宮教会解散」承認。
- (8) その他、KCC、RAIK、西南KCC、監査承認。最後の予算案審議と承認があり、閉会礼拝に移った。

副総会長の張慶泰牧師による司会、副総会長申大永長老による祈禱、総会長の梁榮友牧師による「回復と復興」(ヨエル2: 21～24)という題での説教と閉会が宣言された。

第57回総会期 各委員会組織と活動計画

●宣教委員会

<組織>

- ・委員長：趙永哲
- ・委員：蔡銀淑（書記）、宋福姬（会計）、姜章植、中江洋一、金聖孝、金柄鎬



<活動計画>

- (1) 各地方会の伝道集会支援。
- (2) 宣教師受け入れ問題と協力体制構築。
- (3) 異端宗教警戒教育と広報。
- (4) 在日諸外国人対象に多様な宣教方策研究と実施。
- (5) 次世代のためのAI宣教政策構想。

●教育委員会

<組織>

- ・委員長：金迅野
- ・委員：李正子（書記）、蔡銀淑（会計）、金惠珍、金惠心、李相徳、郭鏞吉、梁律子（準）



<活動計画>

- (1) 牧師・長老修養会：2024年秋実施。
- (2) 牧師修養会：2025年夏実施。
- (3) ディアスポラ韓人協議会（2025年）への参加。
- (4) 以上の企画のために月1回のzoom会議を開く。

●社会委員会

<組織>

- ・委員長：李相勁
- ・委員：孫信一（書記）、申容燮（会計）、金聖泰、李大宗、郭鏞吉、咸美羅、李根秀（準）、佐藤信行（準）



<活動計画>

- (1) 「部キ連」の今期は議長教団として行事を担当する。
- (2) KCCJ人権シンポジウムを開催する。
- (3) 人権主日のため、祈禱文・交読文を作って配布する。
- (4) 災害のために毎年20万円を総会クリスマス献金から貯めているが、それを管理して、災害時に要請がある時、社会委員会で会議して支援などを決定する。
- (5) RAIK、KCC、西南KCC、「外キ協」などと連帯して、集会やイベントなどに人材等を派遣など協力する。



第57回役員一同



第57期常任委員一同

●神学考試委員会

<組織>

- ・委員長：金聖孝
- ・委員：朴榮子（書記）、金容昭（会計）、李明忠、李珍容、李重載、朴成均



<活動計画>

- (1) 牧師・伝道師・宣教師考試の実施
- (2) 学習洗札問答集の再発行
- (3) 牧師繼續教育の計画とカリキュラム作成

●信徒委員会

<組織>

- ・委員長：梁陽日
- ・委員：金聖泰（書記）、高慶美（会計）、金成彦、趙顯奎、崔美恵子、李敏禮



<活動計画>

- (1) 全協創立60周年記念集会、「青年主日」制定70周年記念行事を中心に、全協各地方会青年会の活性化のための支援を進める。
- (2) 全国聖書講演キャラバン（2023年9月～2024年5月予定）の完全実施と各地方会信徒との対話交流に取り組む。
- (3) 全国女性会 各地方会女性会と連携及び女性会との協働を図る
- (4) 31歳～49歳までの成人信徒（若年者）の仲間づくりをはじめ、地方会 全国レベルでの組織化に着手する。
- (5) 全国長老会との連携及び教会発展のための協働を実践していく。
- (6) 日本基督教団、日本キリスト教会を中心に、他教団との交流、ネットワークづくりを展開する。
- (7) 多民族共存・多文化共生の宣教活動を促進していく。そのために他委員会とも協力体制を築く。

●憲法委員会

<組織>

- ・委員長：中江洋一
- ・委員：柳町功（書記）、黄文錫（会計）、金根湜、崔光一、白承豪、金聖孝



<活動計画>

- (1) 憲法委員会に上程される憲法・規則等に関する見解や解釈要請に対して迅速に処理できるよう対面、非対面会議を通して対応する。
- (2) 「憲法規則等改正検討委員会」の活動に協力し、総会の発展の役に立つ。
- (3) 改正された総会憲法・規則集を整理し、発行する。
- (4) 地方会、教会、各機関を連帯し、憲法教育などを実施。



新旧総会長交代式

●救済基金委員会

＜組織＞

- ・委員長：吉井秀夫
- ・委員：金勝正（書記）、黄裕錫（会計）、姜章植、梁昌熙、金定明



＜活動計画＞

- (1) 救済基金の安定した給付・運用を進める。
- (2) 救済基金の枯渇に備えて、定期的な献金を要請する方案を立てる。

●財政委員会

＜組織＞

- ・委員長：金秀生
- ・委員：李永九（書記）、崔宰熏（会計）、吉井秀夫、白承豪、高文局



＜活動計画＞

- (1) 「総会財政の安定化と健全化」
- (2) 過年度未収金への対応（関東・中部・関西）と計画案の作成
- (3) 西新井教会に対する立替金返済の実行
- (4) 特別会計の整理
- (5) 総会負担金算出方法の検証

●平和統一会議準備委員会

＜組織＞

- ・委員長：具滋佑
- ・委員：金成彦（書記）、朴英遠（会計）、金明均、金容昭



＜活動計画＞

- (1) 総会平和統一主日において「共同祈禱文」作成、全国教会に配布。
- (2) 海外の韓半島の和解と平和に関する機関や団体との連帯。
- (3) 平和統一の関するオンラインセミナーを計画。



日本キリスト教会
有賀文彦議長挨拶



日本基督教団
雲然俊美議長挨拶



NCCJ
吉高叶議長挨拶



鄭然元牧師による
敬虔会の説教



女性総代と役員たち

●憲法規則改正検討委員会

＜組織＞

- ・委員長：白承豪
- ・委員：柳町功（書記）、黄文錫（会計）、李大宗、高文局、尹善博（準）、中江洋一（準）、崔美恵子（準）、吉井秀夫（準）



＜活動計画＞

- (1) 現最終目標として、2年後の第58回定期総会に憲法規則改正案を提案できるよう改正案の作成・検討作業を具体的に進める。
- (2) 個別目標として、憲法規則の改正に関する意見、提案を委員会での議論に反映させる。そのために、各地方会の実情などを把握できるようにヒアリングを行う。

●カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員会

＜組織＞

- ・委員長：金柄鎬
- ・委員：趙顯奎（書記）、金恵栄（会計）、許伯基、孫信一、石橋真理恵（準）、David McIntosh（準）、鄭詩温（準）



＜活動計画＞

- (1) 在日カナダ宣教師の宣教活動資料などを収集し、記念誌を作る。
- (2) カナダ宣教師の資料室をKCCで設ける。
- (3) 「在日におけるカナダ宣教師とKCCJ」のテーマで講演会を日本とカナダで行う。

●監査

＜組織＞

- ・委員長：高在道
- ・委員：朴英遠、鄭光男、李重載、金定明



新総会長と新副総会長



新書記と新副書記



女性会による聖歌隊



閉会礼拝時の総会長説教

青年会全協

2024年新役員を選出

共同代表2名の新体制で活動展開



韓宣榮協同代表

尹洪一協同代表

2023年9月16日、青年会全国協議会（全協）は、オンラインにて総会を開催し、新役員を選出した。共同代表を韓宣榮伝道師（大阪）、尹洪一（京都）が務め、役員として嚴智用（横

浜）が全協の活動を支える。

これまで地方会・個教会の訪問を通じて培った全国の青年とのつながりを活かし、各教会で信仰を守る青年との絆を深めていく。全国の諸教会の皆さまの引き続きのご支援とお祈りを願う。

（報告：尹洪一共同代表）

<住所変更>

金承熙牧師

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘2-24-32-215

E-mail: seunghee.1229@hotmail.com

電話：080-4205-4673

<救済基金委員会からの報告>

救済基金委員会委員長 吉井秀夫

表1. 救済基金(2022年9月～2023年8月)会計報告

収入の部 単位：円		支出の部 単位：円	
項目	金額	項目	金額
献金	10,000	救済基金の支給(13名)	4,680,000
受け取り利息	182,160	支払w手数料	18,840
小計①	192,160	小計②	4,698,840
前年度繰越金	66,125,073	次年度繰越金	61,618,393
総合計	66,317,233	総合計	66,317,233

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【現預金】	51,958,638		
ゆうちょ銀行 普通預金	11,296,040		
SBI銀行 定期預金	40,662,598		
【貸付金】	3,759,755		
総幹事住宅 建築資金	3,759,755	負債合計	0
【立替金】	5,900,000	純資産の部	
沖繩教会	5,900,000	【繰越利益剰余金】	
		前期末残高	66,125,073
		当期純損失(①-②)	-4,506,680
		当期末残高	61,618,393
		純資産合計	61,618,393
資産合計	61,618,393	負債・純資産合計	61,618,393

【対象者】担任牧師及び、総会機関(KCC、総会事務所、RAIK 全国教会女性連合会)において経歴期間の合計が10年以上あって退職された教役者とその遺族配偶者で、年齢や収入条件（156万円以下配偶者含）があります。詳しくは、各地方会の任職員、救済基金委員にお訊ね下さい。毎年申請制で総会期決算の8月中の申請と各地方会任職員会の承認が必要です。

【申請方法】 毎年申請制で、収入条件には市区町村が発行する昨年分の所得証明書が必要です。各地方会の任職員会で毎年8月までに対象者の認定を行った後、救済基金委員会で給付の受け付けを行います。

【基金について】 旧年金基金の解散、清算後の残金を活用して、隠退後の教役者と遺族師母任の生活支援を目的に救済基金が設立されました（一律支給3万円/月）。

【募金について】 現状の収支から基金が枯渇する年数は約12年です（表2）。今後、受給者の増加と共に基金枯渇年数は短くなります。昨年基金会計を福音新聞に掲載して、本基金に賛同される個人や教会から献金を募っていますが、その認知度は低い状況と思われます。本委員会では基金の維持・管理に取り組みます。全国信徒の皆様のご理解とご支援、よろしく申し上げます。

表2. 対象者数と救済基金が枯渇する年数試算

救済基金残高		61,618,393	枯渇年数
支援額/月	対象者数	支出/年	
30,000	14(今期+1名)	504	12

募金の振込先 ゆうちょ銀行
記号10180 口座番号00569901
名称 在日大韓基督教会総会(救済基金)

アジアキリスト教協議会第15回総会に参加して

鄭詩温 伝道師

アジアキリスト教協議会（Christian Conference of Asia CCA）第15回総会が、2023年9月27日から10月4日までインド南部のケララ州にある都市、コッタヤムにて「神よ、御霊のうちに私たちを新しくし、そして被造世界を修復してください（God, Renew Us in your Spirit, and Restore the Creation）」をテーマに開催された。CCAの総会は、通常は5年に1度開かれるが、今回は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響により8年ぶりの開催となった。

1957年に世界初の地域的なエキュメニカル組織として創設されたCCAは、アジアにいる6500万人のキリスト教徒を代表している99の加盟教会と17の全国教会協議会またはキリスト教協議会をメンバーにもつ。西はイランから東は日本まで、そして北はネパールから南はニュージーランドにまで至る。アジアの各地域でそれぞれの背景を持つキリスト教徒500人余名が一堂に会した。

総会前の事前大会もさまざまな会場で開かれ、私はそのうちのアジア・エキュメニカル移民提言活動ネットワーク(AEMAN)フォーラムに参加した。AEMANフォーラムでは、アジアにおける移住者・移住民労働者の権利を教会がどのように支援し、擁護していくことができるのかについて共に考え、認識を高めるための集まりである。丸2日と総会開催日の午前まで事前大会は行われ、大会ごとに朝夕共に礼拝をささげ、

それぞれのテーマについてアジア各地から来たさまざまな職種、年齢、性別の参加者と共に交わりの時を持った。

特に印象的だったのが、マランカラ・マル・トーマ・シリア教会の司祭であり、インド聖書学会会員であるP.G.ジョージ司祭による「ディアスポラにおけるアジア移民労働者の権利と尊厳」と題した聖書的・神学的考察の講演である。司祭は講義の中で「移民者は空間の狭間に生きている」と述べ、教会は、この狭間を生きる人々と「つながる場」となることができると語られた。このことを聞いて、まさに在日大韓基督教会の存在は、狭間を生きる人々と共に生きる場なのではないかと改めて思わされた。

事前大会に参加したことによって改めてアジア間での連帯の大切さと、各地において小さくされている者と共に生きることの使命、そして普段であれば出会うことのなかった同じ志を持つ人たちの出会うことができた。この恵みの時が与えられたことに心から感謝したい。

